

- ・関係者が集まり、産業界の抱える技術的課題や支援成果を、定期的に共有。
- ・相談に加え、研修や講演会についてもオンライン対応。

(3) 県負担・補助率の考え方

10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
消耗品費	392	ライセンス等の購入
備品購入費	3,260	マイクスピーカーシステム、PC等の購入
合計	3,652	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・工業系試験研究機関における技術相談・技術支援機能の強化。

(2) 後年度の財政負担

- ・ライセンス費用

(3) 事業主体及びその妥当性

- ・岐阜県（工業系試験研究機関）が県内モノづくり企業を支援し、業績の回復を促す。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・ウィズコロナ・アフターコロナに備え、「新たな日常」に対応した県内モノづくり企業への質の高い技術支援体制を構築するため、オンラインを活用したワンストップの技術相談や研修等を実施できる環境を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の拡大に対応するものであり、あらかじめ指標を設定し、達成率を測るのは適さない。

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応及びアフターコロナに備え、県内モノづくり企業への質の高い技術支援体制を構築するためのものであり、必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・導入効果を見極め、今後の運用を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------